



特別
イ 4
3163
210



貴
4
3163
210

工知田郎

権運三郎



圖もの処の意馬心猿の經意を以て
捕らる。又是教の捷徑あり。實不教訓
た教意の駒の六塵の境小走り。實欲の
心の猿ハ五濁の枝小走り。實朝
盡夜止と死あり。その止と死迷いとせし
意馬小手綱と由らむる。常小心猿と竹懲り
金言妙句の繩とよく。あつて法性の柱小繫けし。か世話
やうの古人乃筆跡寔小形多死の如し。形を作りて志めす
またハ婦女子も道理と悟らんとわらふと種小綴山ま
千ヶ歳々の九三双紙も教訓のいろは小做んがるの



久第三
天来孟春

為永春水識



室壁太郎八



日星若丸
相摸次郎正時

乞食
新参の
小猿



あんなにせめてつれていさくが
まじをのいせにけりあまらむ
さうさうあまらむさうさう
てのつれてまじあまらむ
まじあまらむさうさう
さうさうあまらむさうさう

とらうてひたし
さうさうあまらむ
まじあまらむ
さうさうあまらむ
まじあまらむ
さうさうあまらむ

あんなにせめてつれていさくが
まじをのいせにけりあまらむ
さうさうあまらむさうさう
てのつれてまじあまらむ
まじあまらむさうさう
さうさうあまらむさうさう



あんなにせめてつれていさくが
まじをのいせにけりあまらむ
さうさうあまらむさうさう
てのつれてまじあまらむ
まじあまらむさうさう
さうさうあまらむさうさう

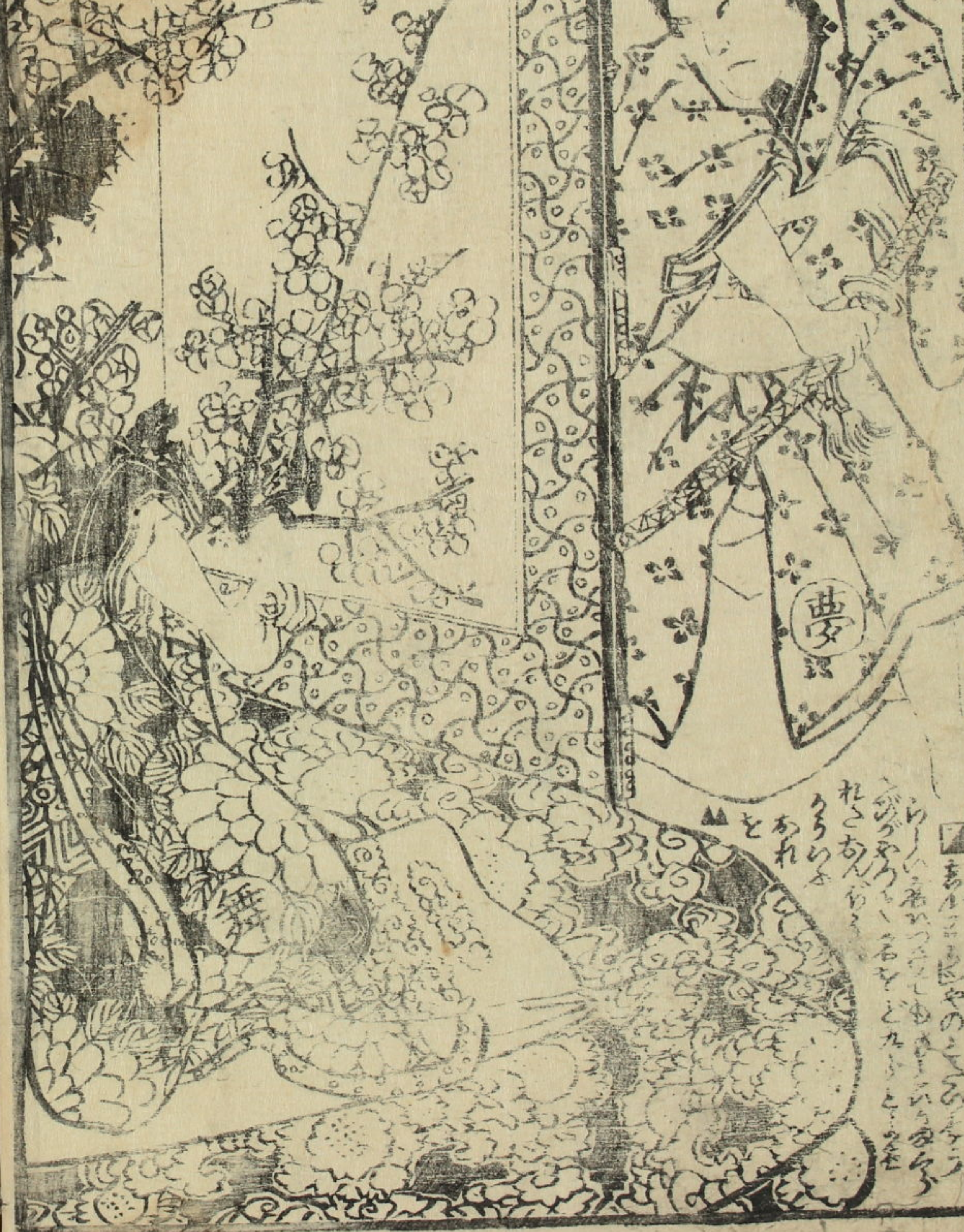
あんなにせめてつれていさくが
まじをのいせにけりあまらむ
さうさうあまらむさうさう
てのつれてまじあまらむ
まじあまらむさうさう
さうさうあまらむさうさう

此の物語は
 昔の事なり
 今も昔も
 人の心は
 変わらぬ
 事なり
 此の物語は
 昔の事なり
 今も昔も
 人の心は
 変わらぬ
 事なり



此の物語は
 昔の事なり
 今も昔も
 人の心は
 変わらぬ
 事なり

此の物語は
 昔の事なり
 今も昔も
 人の心は
 変わらぬ
 事なり
 此の物語は
 昔の事なり
 今も昔も
 人の心は
 変わらぬ
 事なり



此の物語は
 昔の事なり
 今も昔も
 人の心は
 変わらぬ
 事なり

春水作國貞画



天のあまのつみぎのく
 むすめのかみしるこまをひた
 りてむすめをくくつりし
 あまのつみぎのくまをひた
 りてむすめをくくつりし
 あまのつみぎのくまをひた
 りてむすめをくくつりし
 あまのつみぎのくまをひた
 りてむすめをくくつりし

あまのつみぎのくまをひた
 りてむすめをくくつりし
 あまのつみぎのくまをひた
 りてむすめをくくつりし
 あまのつみぎのくまをひた
 りてむすめをくくつりし
 あまのつみぎのくまをひた
 りてむすめをくくつりし
 あまのつみぎのくまをひた
 りてむすめをくくつりし

明治八年上和田世渡部勘定

明治八年 上和田世

渡部 勘定

村前

渡部 勘定 十二月廿三日

